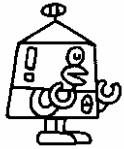


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の発芽と成長 / 理解シート

ざっそう

雑草は、たねをまかなくても、なぜ芽が出てふえるの



小さな雑草のたねがそこら中に飛び散っていて、運のよい
たねだけが、決まった季節に芽を出すことができたんだよ。

はつが

発芽できなかった雑草のたねのほうが、はるかに多い

タンポポなどのように、あちこちにはえてくる雑草は、だれもたねまきをしないのに、毎年決まった時期に芽が出て花をつけます。これはなぜでしょうか。

雑草は、園芸用で売られている花などくらべて、じょうぶでたくさんのたねをつくりまします。これらのたねは、風に飛ばされたり、動物が運んだりしてあちこちに飛び散ります。土がないところに落ちたたねは、発芽できません。虫や鳥などに食べられてしまうたねも多いものです。

ほかの植物がしげったところに落ちると、生きる競争に負けて育ちません。運よく地面に落ち、上に少しどろがかぶさったような状態じょうたいになっていたたねだけが、ちょうどよい温度になったころ、雨などのしめり気を受けて、発芽できるのです。

園芸用草花のたねの注意書きは、よく発芽させるための条件じょうけん

園芸用草花のたねのふくろには、たねをまく時期や、どれぐらいの深さの所に、何 cm ぐらいはなしてまきなさい、などと細かい注意書きがあります。植物の種類によってちがう、たねをまく時期や、たねをうめる深さが正しくないと、発芽できなかったり、発芽してもよく育たないからです。

よく観察すると、雑草でも花がさいたり、ほが出たりします。そのあとにたねがさができますから、注意してたねを探してみましよう。



草のほを入れてやると、セキセイインコが
つついて食べるのは、たねがあるからなのね。